

# 学びの宝庫、飯田

～ 大学生からのメッセージ ～

No.45

## 私が感じた「飯田らしさ」

東京大学教育学部3年

わたなべ こういちろう  
渡邊 晃一郎 (兵庫県加古川市出身)

ゼミの一環で私が飯田に初めてきたのが昨年9月。普通の街に見えて普通ではなかった飯田に惹かれ、調査開始が10月頃。そして飯田OIDE長姫高校の地域人教育を主に2月までかけて飯田を調べました。

飯田という「まち」に限らず、一般に「まち」というものはそこに住む人との相互作用を起こしつつ存在していくもので、永久に残るものはないのかもしれませんが、しかし、「飯田らしさ」があるとすれば、それは様々な可能性を秘めている街であり、さらにその可能性を芽生えさせることができる街だということではないかと調査実習、報告書執筆を通じて思いました。私が担当した地域人教育も今年からカリキュラムの刷新など改善の途中にあり、完璧なものではないということが調査の中で分かってきました。しかし、完璧でない、“Best”でないことを許容し、進もうとする意思のある人の道を塞がないことが積み重なって「飯田らしさ」になってきたのではないか、と思う次第です。まさに「意志あるところに道あり」の街ではないか、と感じました。



飯田OIDE長姫高校学生との意見交換